

2025 年度

【2022 年度・2024 年度卒業生対象】

卒業後アンケート

集計結果

2025 年 11 月

大阪産業大学

目 次

○卒業後アンケート実施概要	1
○卒業後アンケート集計結果	3
○総評	14

<アンケート実施概要>

調査目的：卒業後アンケートを実施することにより、アンケートを通して卒業生が本学での学生生活を振り返り、教育や学生生活についての意見を集計することで、本学の教育研究活動を評価し、その質向上や改善に繋げる。

調査対象：2022年度卒業生（2023年3月卒業、2022年9月卒業）

2024年度卒業生（2025年3月卒業、2024年9月卒業）

調査方法：Webによるアンケート（本学で連絡先を把握している卒業生のみを対象）

調査期間：2025年8月18日～9月19日

アンケート設問：選択式10問、自由記述4問

設問	選択肢
【1】現在のあなたの状況にもっとも当てはまるものをご回答ください	①正社員 ②契約社員 ③派遣社員 ④アルバイト・パートタイム ⑤学生 ⑥その他
【2】あなたが大学生活で身に付けた知識や能力等のうち、現在の仕事や学習に役立っていると思うものとして、あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）	①一般的な教養 ②分析力や問題解決能力 ③専門分野や学科の知識 ④批判的に考える能力 ⑤異文化の人々に関する知識 ⑥リーダーシップの能力 ⑦人間関係を構築する能力 ⑧他の人と協力して物事を遂行する能力 ⑨異文化の人々と協力する能力 ⑩地域社会が直面する問題を理解する能力 ⑪国民が直面する問題を理解する能力 ⑫文章表現の能力 ⑬外国語の運用能力 ⑭コミュニケーションの能力 ⑮プレゼンテーションの能力 ⑯数理的な能力 ⑰コンピュータの操作能力 ⑱時間を効果的に利用する能力 ⑲グローバルな問題の理解 ⑳その他
【3】あなたが大学生活でもっと身に付けておけばよかったと思うものとして、あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）	①学習（幅広い教養） ②学習（専門的な学び） ③卒業研究・ゼミ ④部活動・サークル・課外活動 ⑤ボランティア活動 ⑥海外留学 ⑦インターンシップ・就業体験 ⑧資格取得 ⑨友人との交流・人間関係作り ⑩趣味活動 ⑪アルバイト ⑫その他
【4】あなたが大学生活で力を入れたことは何ですか。あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）	①強く実感する ②やや実感する ③あまり実感しない ④まったく実感しない
【5】あなたが大学生活でもっと取り組んでおけばよかったと感じることは何ですか。あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）	①とても勧めたい ②まあ勧めたい ③あまり勧めたくない ④まったく勧めたくない
【6】大学生活での学びや経験が自身の成長につながったと実感していますか。	①現在の職務に直接必要な基礎的な知識を得るため ②現在の職務における先端的な専門知識を得るため ③現在の職務を支える広い知見・視野を得るため ④現在とは違う職場・仕事に就くための準備をするため ⑤現在もしくは別の職場へ復帰するための準備をするため ⑥資格取得のため ⑦学位取得のため（現在学生の方含む） ⑧昇進・昇給のため ⑨所属企業等から受講を薦められたため ⑩特に感じたことはない
【7】卒業学部・学科を他の人にも勧めたいと思いますか。	
【8】卒業後、新たに学びたいと感じたことはありますか。その理由・動機について、あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）	

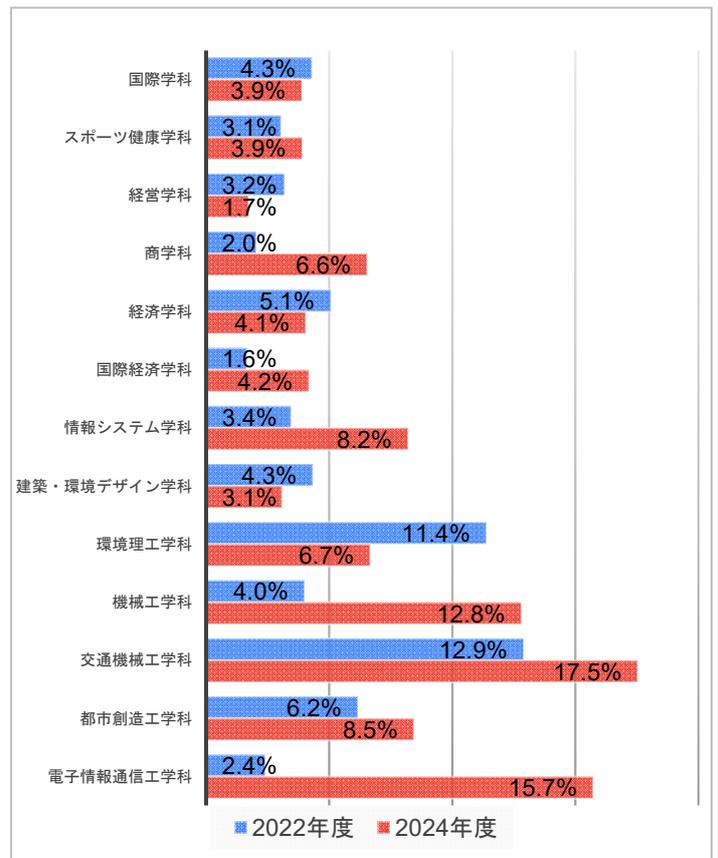
<p>【9】新たに学びたい内容について、あてはまるものをお選びください。(最大3つまで)</p>	<p>①特定職種の実務に必要な知識・スキルを習得できる内容 ②幅広い仕事に活用できる知識・スキルを習得できる内容 ③最先端にテーマを置いた内容 ④実技・実習等の実践的な内容 ⑤業界における幅広い知見・視野を習得できる内容 ⑥一般的な教養を深められる内容 ⑦問題解決能力を養う内容 ⑧組織や社会の一員としてのリーダーシップを習得できる内容 ⑨学びたいと感じたことはない</p>
<p>【10】どのような環境であれば、学びたい／学べると感じますか。(最大3つまで)</p>	<p>①短期間で学べる ②長期間で分散して学べる ③夜間、土日、休日等の社会人に配慮した時間帯で学べる ④学ぶ時間帯を自由に選択できる ⑤費用(授業料等)が安い ⑥費用(授業料等)の免除や奨学金等の制度がある ⑦学びに対して証明書が発行される ⑧場所が通いやすい ⑨オンラインで学べる ⑩所属企業等から配慮してもらえる ⑪所属企業等での評価に繋がる ⑫学びたいと感じたことはない</p>
<p>【11】あなたが興味を持っている分野を具体的にご記入ください。(例：財務・会計・プログラミング・教職など)</p>	<p>自由記述</p>
<p>【12】大学の授業、あるいは課外活動で、特に印象に残っていることがあれば、ご記入ください。</p>	<p>自由記述</p>
<p>【13】その他、大学生活を振り返って、良かった点や体験があれば、具体的にご記入ください。</p>	<p>自由記述</p>
<p>【14】今後、本学がより良くなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。</p>	<p>自由記述</p>

●単純集計

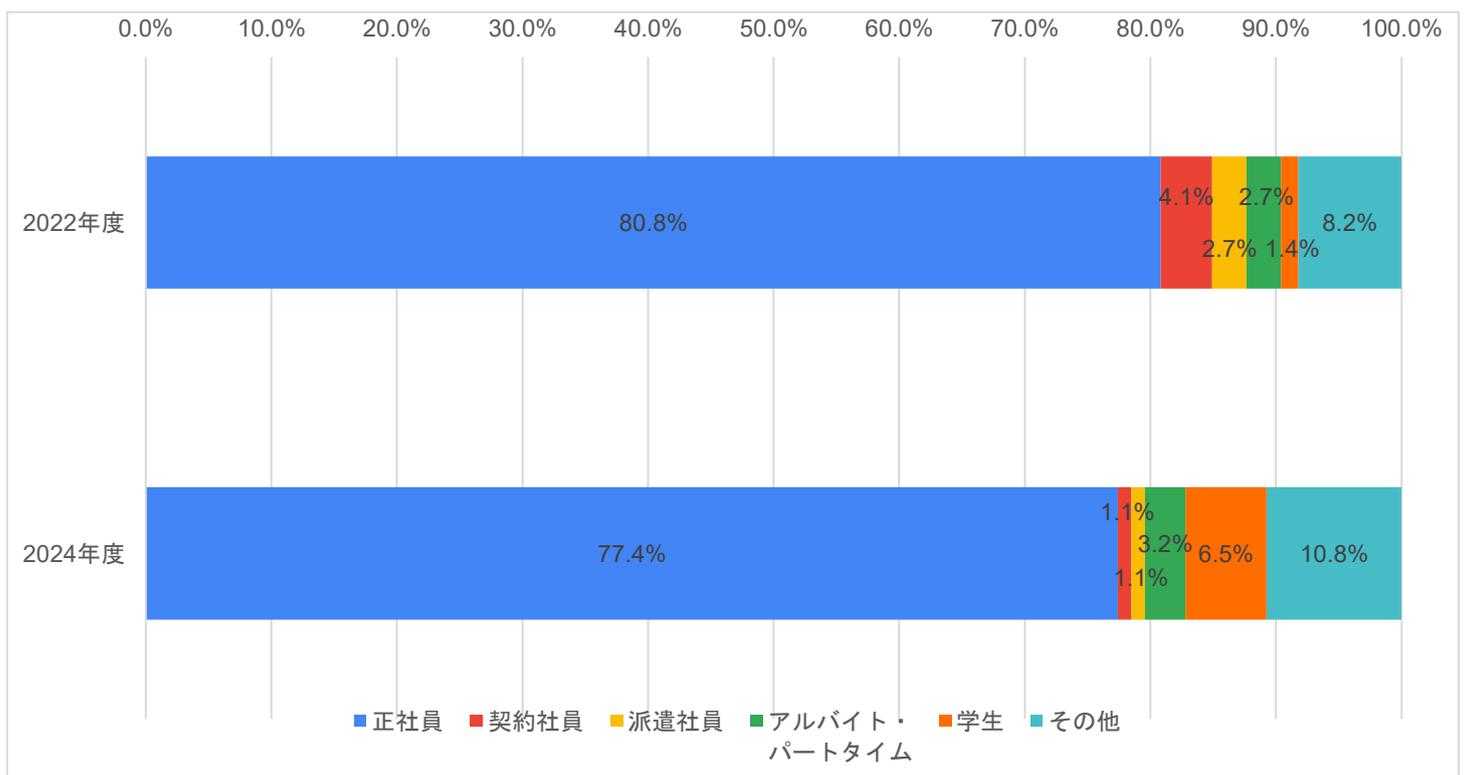
2022年度・2024年度卒業生 回答状況

全学 回答数一覧

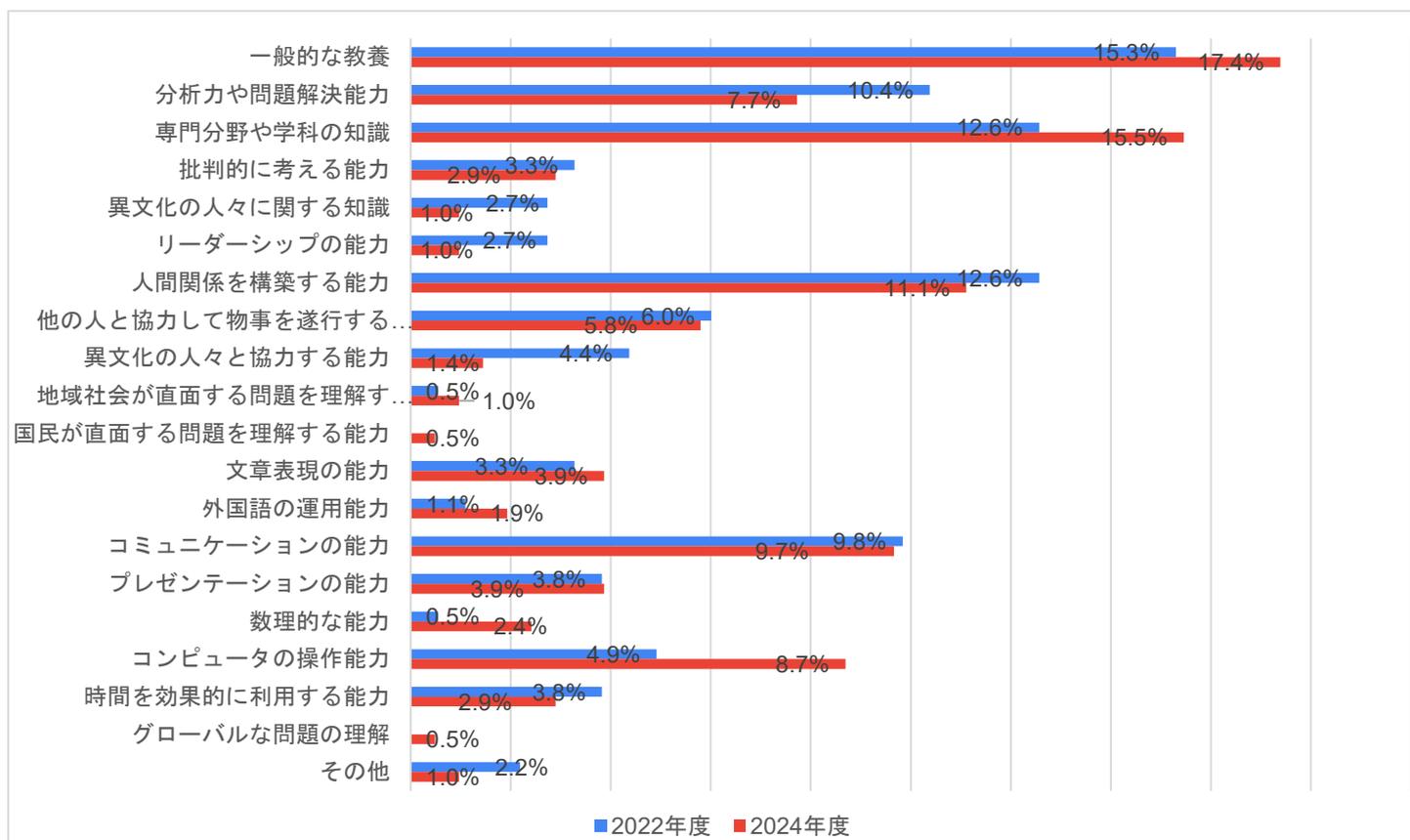
学科	2022年度			2024年度		
	発送数	回答数	回答率	発送数	回答数	回答率
国際学科	93	4	4.3%	77	3	3.9%
スポーツ健康学科	131	4	3.1%	128	5	3.9%
経営学科	219	7	3.2%	232	4	1.7%
商学科	196	4	2.0%	183	12	6.6%
経済学科	217	11	5.1%	222	9	4.1%
国際経済学科	182	3	1.6%	167	7	4.2%
情報システム学科	87	3	3.4%	73	6	8.2%
建築・環境デザイン学科	92	4	4.3%	97	3	3.1%
環境理工学科	79	9	11.4%	60	4	6.7%
機械工学科	100	4	4.0%	78	10	12.8%
交通機械工学科	124	16	12.9%	57	10	17.5%
都市創造工学科	81	5	6.2%	71	6	8.5%
電子情報通信工学科	83	2	2.4%	89	14	15.7%
	1684	76	4.5%	1534	93	6.1%



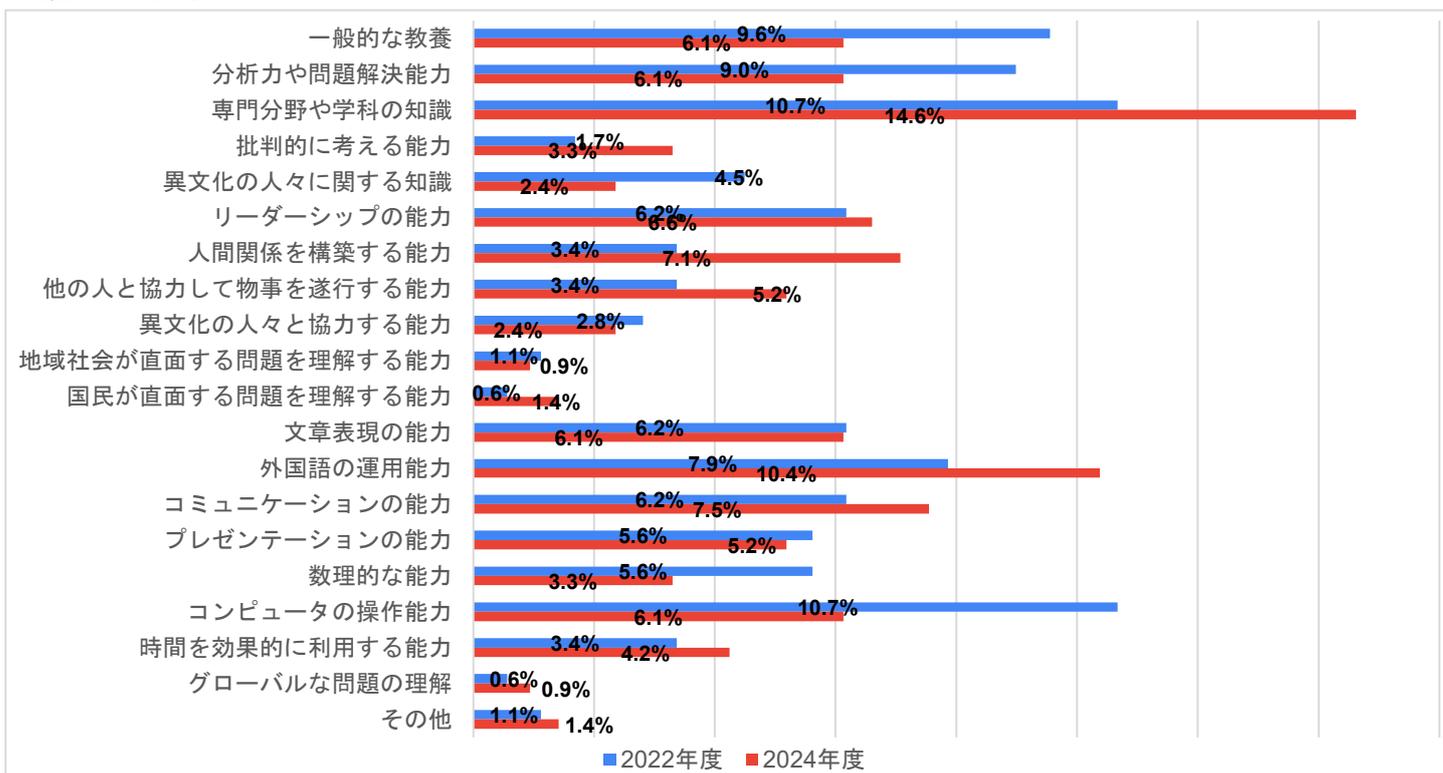
【1】現在のあなたの状況に最もあてはまるものをご回答ください。



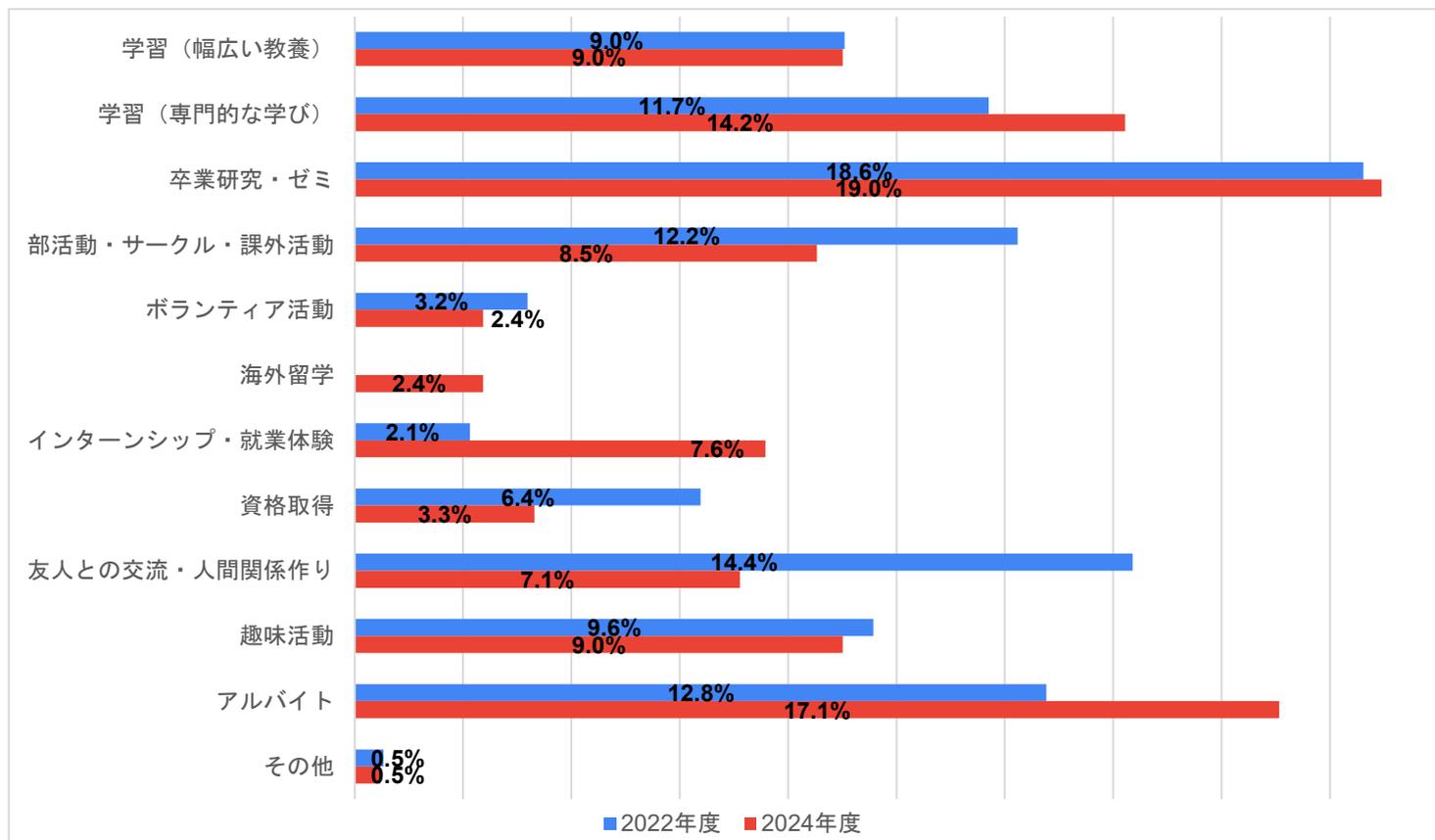
【2】あなたが大学生生活で身に付けた知識や能力等のうち、現在の仕事や学習に役立っていると思うものとして、あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）



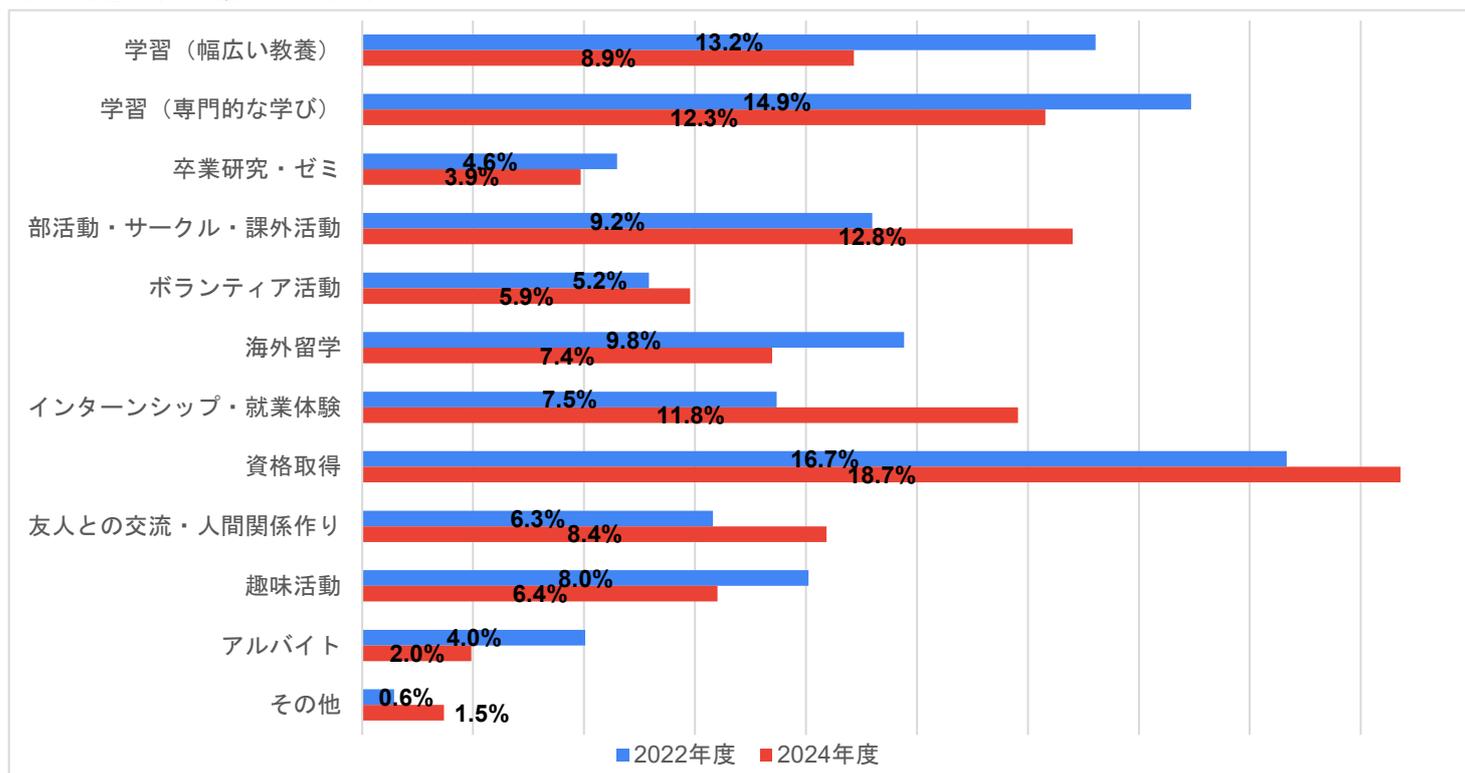
【3】あなたが大学生生活でもっと身に付けておけばよかったと思うものとして、あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）



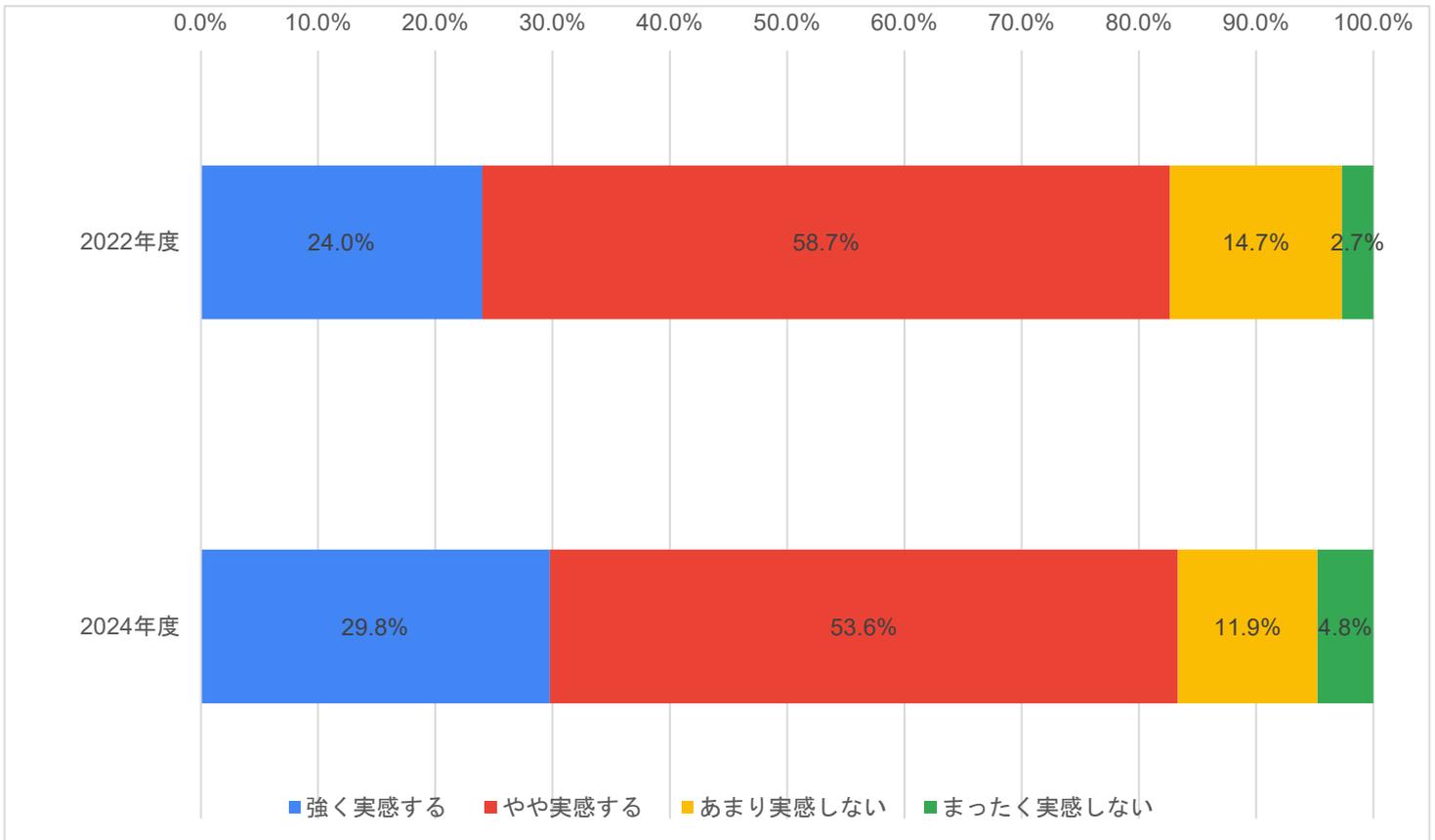
【4】あなたが大学生生活で力を入れたことは何ですか。あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）



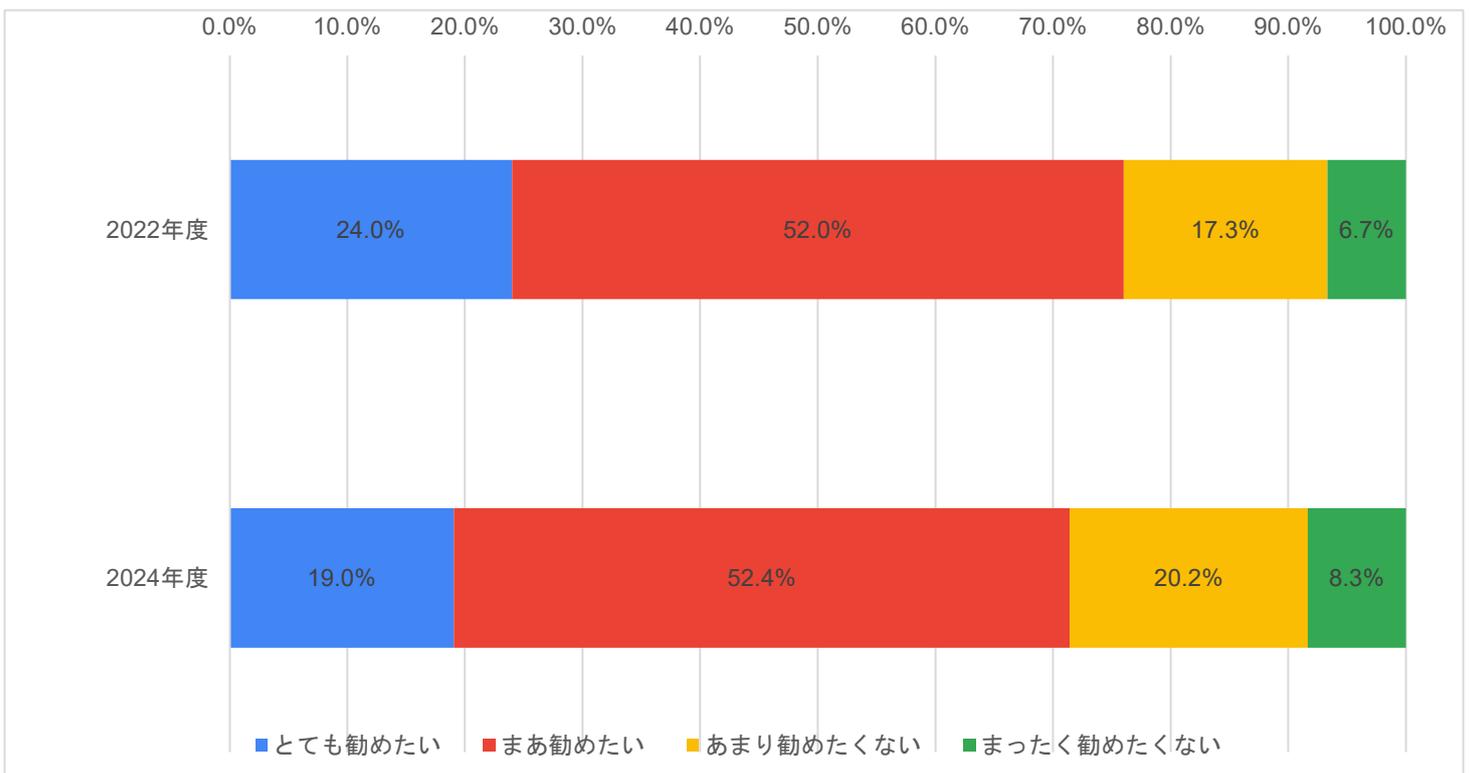
【5】あなたが大学生生活でもっと取り組んでおけばよかったと感じることは何ですか。あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）



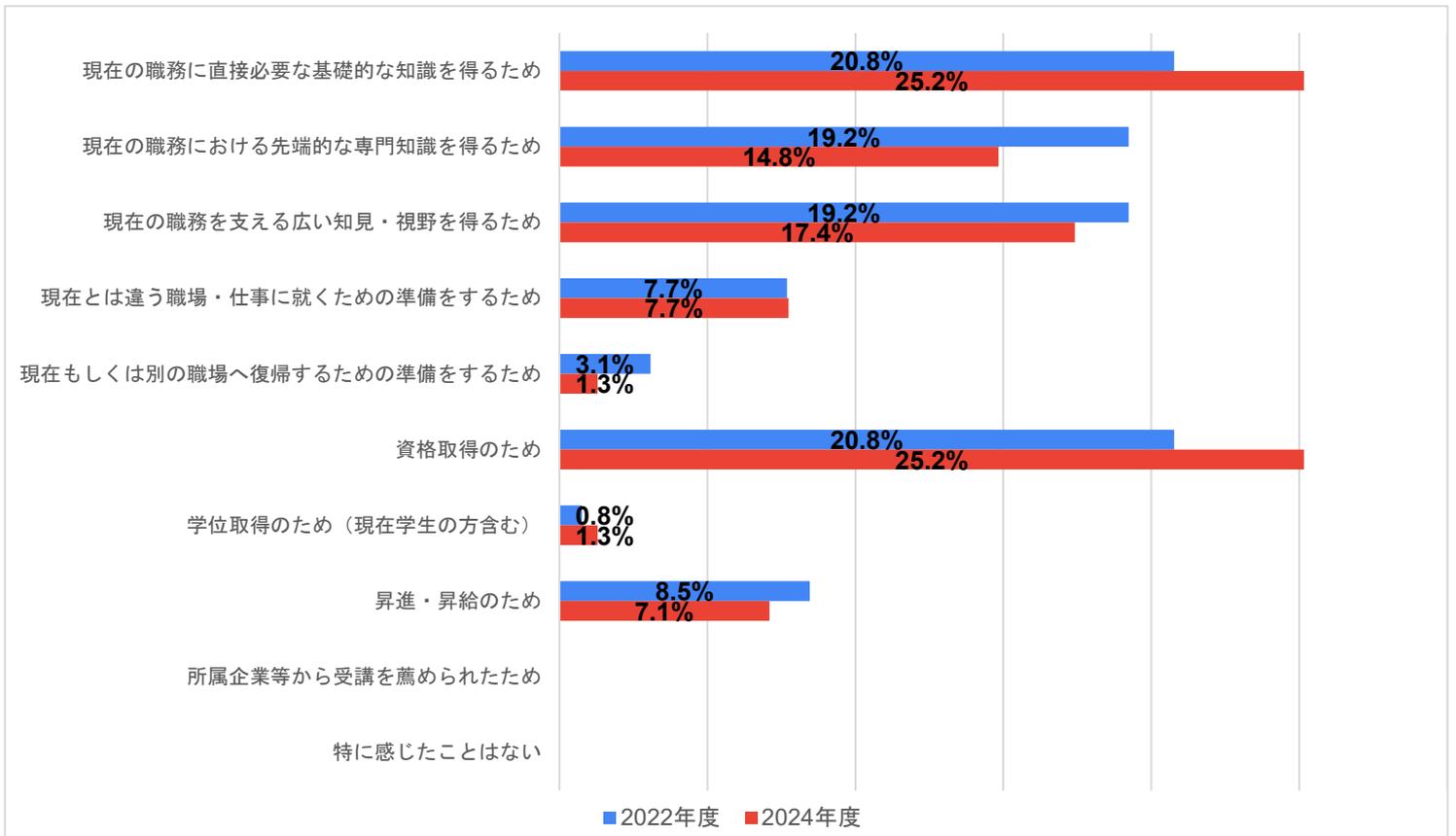
【6】 大学生活での学びや経験が自身の成長につながったと実感していますか。



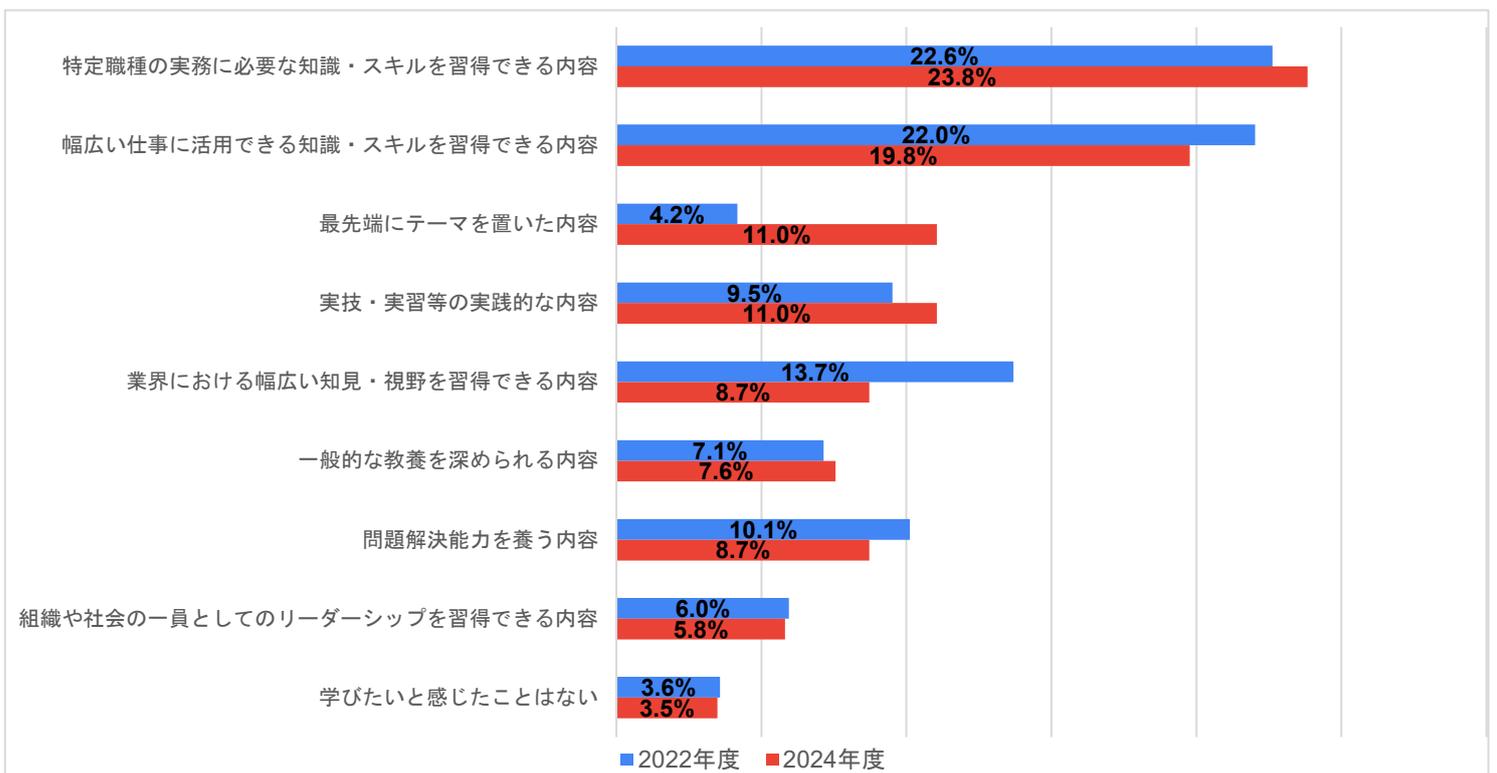
【7】 卒業学部・学科を他の人にも勧めたいと思いますか。



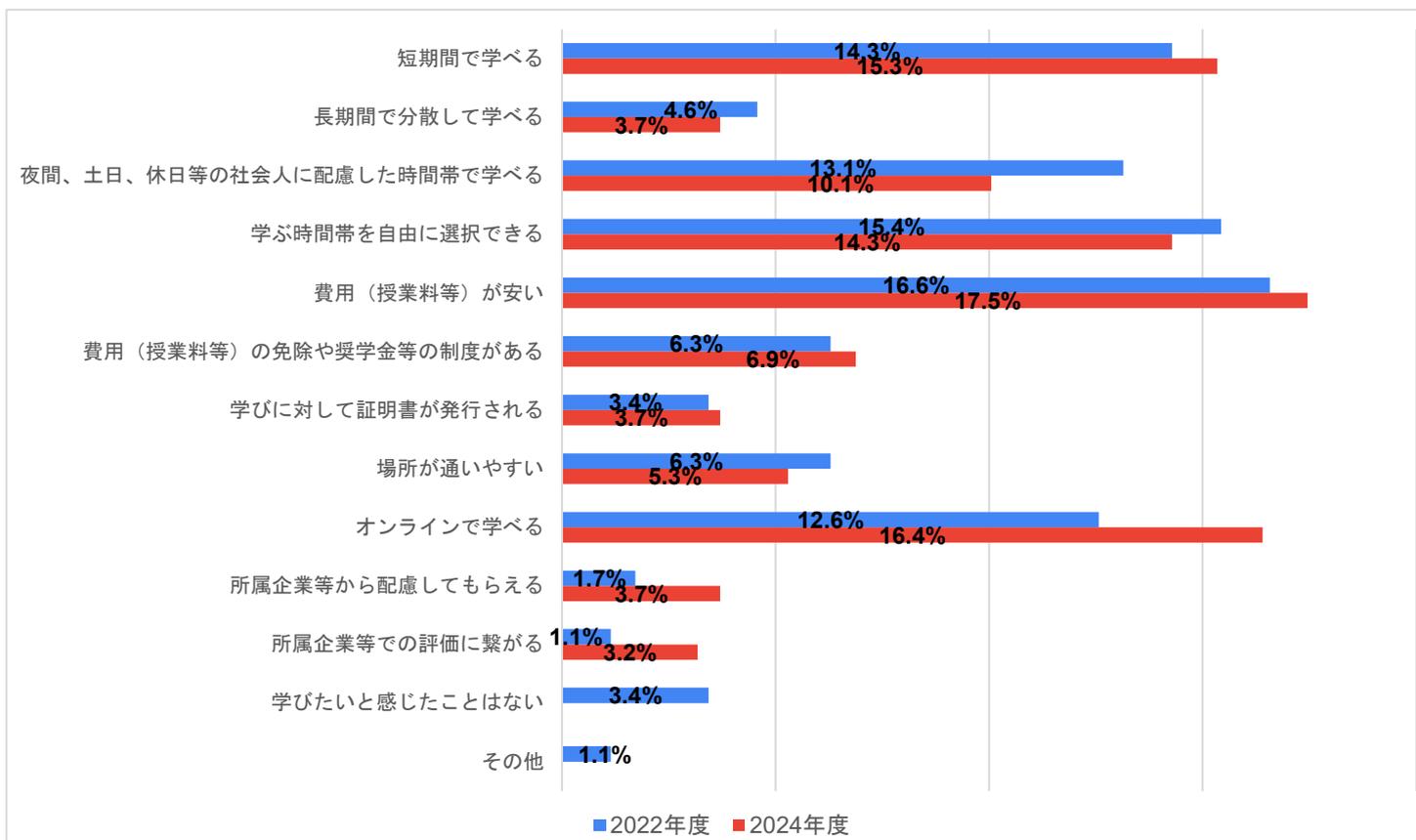
【8】卒業後、新たに学びたいと感じたことはありますか。その理由・動機について、あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）



【9】新たに学びたい内容について、あてはまるものをお選びください。（最大3つまで）



【10】どのような環境であれば、学びたい／学べると感じますか。（最大3つまで）



【11】 あなたが興味を持っている分野を具体的にご記入ください。(例：財務・会計・プログラミング・教職など)

【2022 年度卒業生の回答の抜粋】

- ・ プログラミング
- ・ 教職
- ・ 簿記
- ・ IT
- ・ 財務・法務

【2024 年度卒業生の回答の抜粋】

- ・ CAD
- ・ 英会話
- ・ プログラミング
- ・ 教職

【12】 大学の授業、あるいは課外活動で、特に印象に残っていることがあれば、ご記入ください。

【2022 年度卒業生の回答の抜粋】

講義・実習関連

- ・ 自動車性能論 1
- ・ 自動車工学実習 3。実際の車両を用いてなぜ不具合が起きているのかを原因を探求するといった内容。配線図を参照しながら目先の事象に囚われずに視野を広く持って探求すべきだという事を学ぶことができました。今の仕事でも大いに役立っています。
- ・ 竹垣を作成する実習
- ・ 教職の課外活動

卒研・ゼミ

- ・ 卒業研究がとにかく大変だった。
- ・ ゼミでの校外学習（他大学との交流や自動運転体験）
- ・ ゼミ交流

クラブ・プロジェクト共育

- ・ 木製 EV プロジェクト活動
- ・ 自動車競技部での活動全般
- ・ 新エネルギービークルプロジェクト

その他

- ・ 赤十字ボランティアでの活動
- ・ 上級キャリアコースでの活動、ゼミ活動、短期留学など

- ・ 課外授業（生駒山）
- ・ 教職でたくさんの先生方にお世話になり、たくさんの経験をした。卒業研究で友人と目標に向かい切磋琢磨できた。

【2024 年度卒業生の回答の抜粋】

講義・実習関連

- ・ 交通機械基礎実習
- ・ 模擬授業
- ・ 整備の実習

卒研・ゼミ

- ・ 金田先生のゼミ
- ・ プロジェクト活動の大会に出場したこと
- ・ 卒業研究
- ・ ゼミでの地域活性化活動や、スポーツマーケティングで実際に働いている方にお話を聞いたこと。

クラブ・プロジェクト共育

- ・ 部活動
- ・ 部活動でのバイクの整備知識

その他

- ・ アメリカでの学会発表。
- ・ 大学祭実行委員会・オープンキャンパススタッフ"LION"
- ・ 教職課程の中で外で勉強しに行ったこと

【13】 その他、大学生活を振り返って、良かった点や体験があれば、具体的にご記入ください。

【2022 年度卒業生の回答の抜粋】

- ・ 少人数制だったので、先生や同期と話しやすかった
- ・ 幅広く産業技術を学べたこと
- ・ 教職で他の学部の人と切磋琢磨して協力して目標に向かって取り組めた時間
- ・ 上級キャリアコースに所属し、「1 番になることを諦めることがなくなった」点が大学生活を通してよかった点の 1 つだと思います。高校卒業時までは、学力面や部活動などにおいて始めから諦める習慣がついてしまっておりましたが、学部全体での学びやコースでの競争を通じて「1 番になるためにやるべき努力」ができるようになりました。社会人 3 年目の現在も、その習慣を大切にしており、仕事へのモチベーションになっております。
- ・ コロナ禍での臨機応変なオンライン授業対応は素晴らしかったです。

- ・ アルバイト、サークル活動、卒業研究など。同じ境遇の仲間たちと色々な経験ができた。特に学食でいろんな会話や決め事ができた。
- ・ 卒業研究での成果を他企業へ発表出来る機会をいただいたとき。
- ・ 高校とは違う研究や専門的な知識を学ぶことができたところ
- ・ 入学時コロナ前だったのもあり、新入生対象で淡路島に行ったこと
- ・ 上級キャリアコースに入って勉学に励んだ点。

【2024 年度卒業生の回答の抜粋】

- ・ 教職員の方と学生との距離が近い。大学院への進学。アメリカでの学会発表。テクニカルライティング（中川講師）の SA/TA の経験。
- ・ 留学生との交流。異文化を体験し自身と体験と振り返る。
- ・ 教職員の方と学生との距離が近い。大学院への進学。アメリカでの学会発表。テクニカルライティング（中川講師）の SA/TA の経験。
- ・ 部活動でバイクの整備を行ってきたことが仕事で生きていることです。
- ・ 土曜日に空いている図書館や、PC 演習室は自発的な学習を行ううえで、非常に役に立った。
- ・ 違うコースの内容でも本人のやる気次第で履修することができること
- ・ クリエイトセンターでのアルバイトのおかげで最低限マシな資料作成の能力がついたため良かったと思う。
- ・ 大学での人間関係を築く事や短期留学といった大学生でしか体験出来ないことを体験出来た事です。
- ・ ゼミに入ったことで会計の知識を身につけることが出来たのはよかったし、現在も今後の為にも学習を続けれるのは会計のゼミに入って会計を勉強することへの意欲が以前より増したのがきっかけなのでそこに関してはよかった。
- ・ グループワークが多く、今まで話したこと無かったメンバーと話す機会があり、コミュニケーション能力をつけることが出来て良かったと思います。

【14】 今後、本学がより良くなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

【2022 年度卒業生の回答の抜粋】

- ・ 実際に卒業して働き出して感じた事になります。既卒ですが、転職とかを考えた時に相談できる窓口とかある事で卒業後もサポートできる体制とかあると、入学を検討している方の中でも少しプラス材料になるのかなと思いました。
- ・ 交通機械工学科といった珍しい学科での学びを活かせる実習車両や講義に用いる資料等の予算を潤沢にすべきだと思います。この様な活動や車両があるというだけで立派な宣伝広告になると考えます。

- ・ 実際に働いている学科の OB を呼んで、今しておくべきこと等々を交流会なりすればいいのではと思います。その機会があれば、ぜひ参加させていただきたいです。
- ・ OB・OG を巻き込んで就活支援にもっと力を入れてもいいんじゃないかなと思います
- ・ 専門性のより高い授業を選べるようにする。基礎授業についていけない生徒向けの授業、特別講習等
- ・ 特に工学部においては研究畑ではなく実務経験のある先生方が多い印象でした。各授業分野において実際の設計、研究への発展がいかになされているか、先生方の実体験を元にした授業があれば理解も進むと思います。
- ・ コロナ禍前は図書館の 2 階や地下で友人と共に学習や談笑し、大学生活が充実した要因の 1 つだと思うので、目的別のスペース(会話可能な学習スペース、談笑など可能なフリースペースなど)を増やして欲しい
- ・ よりアットホームな授業体制。
- ・ 私の卒業した国際学部では、少人数での授業が多かったのですが、他学部ではあまり行われてないと聞きました。私自身、教授や学生のみなどと近い距離で学べたことが有意義でしたので、他学部でも導入されるとよいのではと感じます。
- ・ スポーツを強くする※知名度を上げて将来的に学力の高い学生が集まる学校にする
- ・ 卒業後の人生を学生に知れるような機会があれば良いかと思います。

【2024 年度卒業生の回答の抜粋】

- ・ もっと高いレベルでの学び
- ・ 仕方がないこととは理解しているが、必修、選択必修などの単位のシステムが複雑すぎる
- ・ 授業の定員を見直す
- ・ 部活、サークルを推しがちだがプロジェクト共育も同じように推すことで、学生の選択肢の幅が広がると思う。
- ・ 大学へのアクセス向上、施設のリニューアル
- ・ 東キャンパスのエリアをもっと充実させて欲しかった。バイク置き場を減らしたことは間違いだと思っています。
- ・ 授業中への取り組み。一部の生徒しか真面目に授業を受けていなく学びの場が構築されていない。そのために出席率をあげるような内容やイベントを行う必要がある
- ・ 高校生へのアピールももちろん必要だが、在学生が広めたいと思えるような大学作り
- ・ 同じ学科の中でさらに交流を持てるようにしたほうが、コミュニケーション能力を上げられると考える
- ・ 他大学等にない学部の特化させてゆく

- ・ 学生自身が、自ら進んで、集中して、学びたくなる様な取り組みが必要だと思う。
- ・ もっとグループワークを増やして欲しかった
- ・ 講義の出席を中心に評価するのではなく、試験の点数や提出物を中心に評価することが必要と感じた。
- ・ コミュニケーション能力を培うために、様々な授業でグループワークを導入した方が良い
- ・ 資格取得に興味のある学生だけでなく、興味のない学生にも最低限の取得出来る様にしたら良いと思います。
- ・ もっと卒論に幅広い選択肢と専門性を設けるなどして力を入れるべきです。卒論の出来のレベルが他大学と違いすぎます。
- ・ ちゃんとした施設
- ・ 学生がもっと真剣に勉強できる環境、そして学生がもっと大学のことが好き・行きたいと思えるような環境づくり。自分に合った進路・それに導くように何を勉強・どうすれば良いのかのような話を聞ける授業を設けるなど
- ・ 他の学校との交流

※問 11 から問 14 までのご回答は、すべてを掲載せず抜粋としておりますが、お寄せいただいたすべてのご意見は真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に活かしてまいります。

総 評

卒業生が卒業後に仕事、学習に役立っている知識や能力等として、「一般的な教養」「専門分野や学科の知識」「分析力や問題解決能力」と回答されている。その一方で、その他の能力については低い結果となった。大学生活でもっと身に付けておけばよかったと思う能力については、「文章表現の能力」「外国語の運用能力」などが多く回答されている。文章表現や外国語については、本学の課題となっているため、今後検討していく必要がある。

卒業後の学びについては費用が安く、学ぶ時間を短時間で行うことが重要であると回答しており、学び直しの必要はないと回答した学生についても興味のある分野として文理問わず、プログラムや資格取得と回答した卒業生が多くいた。

大学生活で印象に残ったこととして、「講義・実習」「卒研・ゼミ」「クラブ・プロジェクト共育」などが回答されている。また、本学が今後より良くなるために「積極的な就職支援」「知識を活かした就職先を知るための機会や授業」など就職の選択肢の拡大に関する意見があった。全体として、本学卒業生が本学での学修成果や学生生活を高く評価する回答が多かった。今後、これらの意見を活かして今後の本学をより改善していく必要がある。